

〔註〕

- (1) 髪置は又髪寫とも云い、女子の場合は垂髪とも云つた。
- (2) 「女禮十二註」一説に鬼宿に當るからとも云う。
- (3) 「續史愚抄」 東山院・中御門院・櫻町院・櫻町院
六十六 七十 七十二 七十三
- (4) 「養生要論」
- (5) 大原幽學著
- (6) 「耳談續纂」
- (7) 「父兄訓」寫本
- (8) 「通俗編」一年計之、在千春二日之計、在千歲見梁元帝纂要
- (9) 「齊安隨筆」十一
- (10) 「受業編」卷之一幼學天明三年版四丁ウ
- (11) 一般の教育段階は智能指數や身分などの個人差によつて、しばしば一期だけばかり上つたり下つたりするとゆう法則
- (12) 「折たく柴の木」
- (13) 「方谷先生年譜」
- (14) 「櫻鳴館遺草」卷の三天保六年版一丁ウ
- (15) 「迂言」學例五
- (16) 嘉永三年版四丁才
- (17) 「禮記」

第二回全國保育大會

奈良で開催——

第二回全國保育大會は、文部省、厚生省、日教組後援の下に、奈良女子高等師範學校講堂において、左のプログラムで開催せられる。昨年来の待望であり盛會が期されている。奈良、大阪、京都、兵庫、滋賀、和歌山、三重各保育會の熱心なる盡力と多大の支出とを以て、この大會が開かれることは、斯界のために、心から感謝にたえない。全國からの出席と協力を祈つてやまない。

尙、同會では種々重要な協議が行われると共に、全國の保育連合が完全にとのえられる豫定であることは、特によろこばしい至りである。

○大會プログラム豫定

七月廿七日(火)。開會式、總會、分科會(九時—四時)
同 廿八日(水)。總會、閉會式(九時—十二時)。講習會(一時—五時)
同 廿九日(木)。講習會(八時—五時)
同 三十日(金)。講習會(八時—五時)
同 三十一日(土)。希望の方に奈良及近府縣名所舊跡案内。

その他、懇親會、各種保育團體の會合。